

(資料26) 平成13年度地方環境研究所等との共同研究

内訳: 23機関 43課題(新規11, 継続32)

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		新規 継続	対応研究 種類
				A・B・C	・		
北海道環境科学研究センター	金子正美 (総務部)	リモートセンシングによる湿原環境モニタリング手法の研究	田村正行(社会)	B		継続	地球推進費
	金子正美 (総務部)	北海道釧路川流域を対象とした流域内の水収支モデルの開発	村上正吾 (流域圏環境管理P)	B		新規	経常研究
岩手県環境保健研究センター	高橋悟 (環境科学部)	バイオアッセイを用いた水環境試料中の環境ホルモン作用のモニタリングとそのリスク評価	白石不二雄 (環境ホルモンP)	B		新規	経常研究
宮城県環境保健研究センター	鈴木 滋 (大気部)	環境汚染化学物質であるダイオキシン類の分析法に関する研究	森田昌敏・伊藤裕康 (化学) 橋本俊次 (環境ホルモンP)	A		継続	経常研究
山形県環境保全センター	佐藤 勉 (環境化学部)	環境中のダイオキシン類の分析方法に関する研究	伊藤裕康(化学)	B		新規	経常研究
栃木県保健環境センター	伊藤佳久 (化学部)	環境中におけるダイオキシン類の分析法に関する研究	伊藤裕康(化学) 橋本俊次(環境ホルモンP)	B		継続	経常研究
東京都環境科学研究所	木村賢史 (基盤研究部)	沿岸域の水環境の保全・回復に資する底質改善対策に関する研究	稲森悠平(廃棄物C)	B		継続	経常研究 地域密着
	佐々木裕子 (分析研究部)	ダイオキシン類分析法に関する研究	伊藤裕康(化学)	B		継続	経常研究
	石井康一郎 (基盤研究部)	自動車からの大気汚染物質発生量推定と大気環境質に及ぼす影響評価に関する研究	若松伸司(PM2.5) 田辺潔(化学) 森口祐一(社会)	B		継続	特別研究
	森 真朗 (基盤研究部)	化学物質が水生生物に及ぼす影響の評価手法に関する研究	畠山成久(生物圏)	B		継続	経常研究
	星 純也 (分析研究部)	有害大気汚染物質の精度管理に関する研究	田辺潔(化学)	B		新規	経常研究
川崎市公害研究所	浦木陽子	大気中の有害化学物質の動態解明	功刀正行(化学)	B		新規	地球推進費
新潟県保健環境科学研究所	村山 等 (大気科学科)	ダイオキシン類分析の迅速化に関する研究	伊藤裕康(化学)	B		継続	経常研究
	田辺顕子 (水質科学科)	水環境における農薬の動態予測および暴露評価システムの構築に関する研究	田辺潔(化学) 森口祐一(社会)	B		新規	経常研究
石川県保健環境センター	小西秀則 (水質科学部)	生物・物理・化学的処理を用いた水質浄化	稲森悠平(廃棄物C)	B		継続	経常研究 地域密着
福井県環境科学センター	前川 勉 塚崎嘉彦 (水質科学部)	有害物質藻類産生ミクロクキスチンの生分解機構と水質改善に関する研究	稲森悠平(廃棄物C)	B		継続	経常研究
長野県衛生公害研究所	小澤秀明 (水質部)	環境試料中のダイオキシン類の分析法に関する研究	中杉修身(リスクC) 伊藤裕康(化学) 山本貴士(廃棄物C)	B		継続	経常研究
	笹井春男 (大気部)	廃棄物埋立処分起因する有害物質による環境影響評価に関する研究	白石寛明(リスクC) 白石不二雄(環境ホルモンP)	B		継続	経常研究
	薩摩林光 (環境化学部)	山岳地域におけるハロゲン化メチルの動態に関する研究	横内陽子(化学)	B		継続	経常研究
	西沢宏 (大気部)	山岳地域における酸性および酸化性物質の輸送と沈着過程に関する研究	村野健太郎・畠山史郎(大気圏)	B		継続	地球推進費
	樋口澄男 (水質部)	車軸藻の絶滅・絶滅危惧種の保護と自然界への復元に関する研究	渡辺信(生物圏)	B		継続	経常研究
長野県自然保護研究所	浜田崇 (自然地理)	山風が都市ヒートアイランドに及ぼす影響に関する研究	一ノ瀬俊明(地球C)	B		新規	経常研究
岐阜県保健環境研究所	村瀬秀也 (環境科学部)	環境中におけるダイオキシン類の分布に関する調査研究	森田昌敏・伊藤裕康 (化学)・橋本俊次 (環境ホルモンP)	B		継続	経常研究
	寺尾 宏 (環境科学部)	農耕地周辺の地下水に含まれる微量成分の濃度実態と溶脱機構に関する研究	西川雅高(化学)	B		継続	地域密着
	形見武男 (環境科学部)	焼却処理におけるダイオキシン類発生量予測指標に関する研究	安原昭夫(廃棄物C)	B		継続	経常研究

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		新規 継続	対応研究 種類
				A・B・C	・		
静岡県環境衛生科学研究所	中島二夫 (西部支所)	地下水の要監視項目による汚染実態の解明	西川雅高(化学)	B		継続	経常研究 地域密着
	深澤 均 (環境科学部)	エストロゲン様物質塩素置換体の内分泌攪乱作用発現機作の解明に関する研究	白石不二雄・白石寛明(環境ホルモンP)	B		新規	経常研究
名古屋市環境科学研究所	榊原 靖 朝日教智 (水質部)	微生物分解を用いた汚染環境修復に関する研究	岩崎一弘 (生物多様性P)	B		継続	経常研究
京都府保健環境研究所	中嶋智子 (環境衛生課)	廃棄物埋め立て処分に起因する外因性内分泌攪乱物質による環境影響評価に関する研究	白石不二雄 (環境ホルモンP)	B		継続	経常研究
大阪市立環境科学研究所	山口之彦 (生活衛生課)	水環境における農薬の動態予測および暴露評価システムの構築に関する研究	田辺潔(化学) 鈴木規之(環境ホルモンP) 森口祐一(社会)	B		継続	特別研究
兵庫県立公害研究所	池澤正 吉村陽 (第1研究部)	道路沿道の局地NOx高濃度汚染とその対策に関する研究	若松伸司・上原清 (PM2.5・DEP)	B		継続	特別研究
	駒井幸雄 梅本諭	山林域における水質形成と汚濁負荷流出過程に関する研究	今井章雄(水圏圏)	B		継続	経常研究
	山崎富夫 宮崎 一 (第2研究部)	瀬戸内海沿岸の環境浄化能・汚濁蓄積特性の解明に関する研究	木幡邦男 (流域圏P)	B		新規	特別研究
島根県衛生公害研究所	藤原誠 (大気科)	西日本及び日本海側を中心とした地域における光化学オキシダント濃度等の経年変動に関する研究	若松伸司(PM2.5) 菅田誠治(大気圏)	C		新規	特別研究
岡山県環境保健センター	山本淳 (環境科学部)	有毒アオコ増殖因子の窒素・リン除去による藻類由来毒性物質産生能の低下に関する研究	稲森悠平 (廃棄物C)	B		新規	経常研究 地域密着
福岡県保健環境研究所	永淵修 (環境科学部)	湖沼における難分解性有機物質の発生原因と影響評価に関する研究	今井章雄(水圏圏)	B		継続	経常研究
	永淵修 (環境科学部)	大気汚染物質濃度の経年変化の解明	佐竹研一(大気圏)	B		継続	経常研究
	松尾宏 (環境科学部)	畑地周辺水域の酸性化が及ぼす環境リスクの低減化に関する研究	西川雅高(化学)	B		継続	経常研究
	大久保彰人 (管理部)	リモートセンシング情報の特徴抽出による環境モニタリング	田村正行(社会)	B		継続	経常研究
	須田隆一 (環境科学部)	宝満山モミ自然林の衰退に関する研究-調査10年後における衰退状況の変化-	清水英幸(国際室) 藤沼康実(地球C)	B		継続	経常研究
鹿児島県環境保健センター	遠矢倫子 赤塚正明 立園直 (大気部)	九州南部(奄美大島・鹿児島等)地域における酸性、酸化性物質等の動態の解析に関する研究	村野健太郎(大気圏)	B		継続	地球推進費
沖縄県衛生環境研究所	金城義勝 (環境生活部)	辺戸岬地上観測施設における環境酸性化物質の物質収支に関する研究	村野健太郎・畠山史郎(大気圏)	B		継続	地球推進費

* 研究タイプA～C

A: 地環研の研究者が自治体における国内留学制度等を利用し、国立環境研究所に於いて原則として1ヶ月以上にわたり共同で研究を実施するもの。

B: 地環研と国立環境研究所の研究者の協議により、共同研究計画を定め、それによって各々の研究所において研究を実施するもの。

C: 全国環境研協議会、ブロック会議等からの提言をうけて、国立環境研究所と複数の地環研の研究者が参加して共同研究を実施するもの。

* 研究タイプ

: 国立環境研究所が主体のもの

: 地方環境研究所が主体のもの